相談支援

- トピックス
  - 計画相談3年目
    - 日中活動
    - 出会い
  - 社会資源の適切な提供
    - 地域（医療）との連携
      - 関係機関と連携することが大事
  - 保健センター
    - 母子、精神、難病等、感染症以外の相談
- 課題共有
  - 住まいの場
    - トライアルできない
    - トライアルできる場が必要
  - 生活介護
    - 50歳代の課題
      - 本人のご両親の高齢化
      - 家庭生活を継続することが困難
        - GH　または　入所施設
          - 都外施設（青森・秋田）
          - 出来れば地域で暮らしたい
  - 地域の中で生活する全国120のCIL
    - そのための支援
      - ピアカウンセリング
      - 自立生活プログラム
      - GHを増やすより民間の住宅を住みやすく
      - 差別解消法への対応
  - 利用者の高齢化
    - 介護保険への移行の問題
    - 70歳で就労支援の場を利用している
      - ジレンマ
    - 親御さんの高齢化
      - 新しい行動に移せない
  - 14の市町村から受け入れている
    - 区民に限定されているサービスの壁
    - サービスの組み合わせが難しい
    - 家族がいない場合の支援が困難
  - 自分の思い通りに生活できないことが課題
    - 65歳からの生活不安
    - 障がいの有無にかかわらず生きにくい
    - 通いたいところに通えない
  - 相談支援は生活支援
    - 住まいの場
      - GHが足りない
        - 資源をどう増やすか
          - 相談支援部会で！
      - 病院からの退院の場
    - 緊急連絡先
      - 入院ができなくなったりする。
      - 物件も借りれない
      - どうするのか？
  - 住まいは基本
    - すまいるプロジェクト
      - 足りない
      - 民間を使う
        - 区内の不動産会社への依頼
        - 門前払いをしないで
        - できれば住宅をあっせんして
        - ライフサポートアドバイザー
        - オーナーに謝礼を支払う
  - 相談支援事業者が増えない
    - 将来的には選べるように
  - 本人と家族の高齢化
    - 通えていた所に通えない
    - 本人の支援への親の意向がわからない
    - 連携を取りながら進める必要性
  - 支援が必要な年齢を見極めるライフサイクルを意識した支援
    - 統合失調症のケースなど
  - 当事者の力を相談に持ち込む
  - 区職員への支援
  - 重複した障がいへの対応
    - 臨機応変に
      - 手続きで疲弊する
  - お互いの役割を知る
    - 分担できる
  - 町会とのかかわり
    - 助け合える地域をはぐくむ
  - 精神障がいの地域移行、地域定着
    - 協議会へ期待
  - 障がい者の高齢化
    - 高齢になっても行きたい場所、大事な場所もあるはず
    - 地域移行ができない人もいる
      - 本人に力がない
      - 資源が足りない
      - 施設に入って保護者もほっとしていることもある
  - 介護保険に移行した際の問題
    - サービスの内容の差など
    - できることは自分でやること
  - 地域の居場所
    - こまじいの家
      - 参加者、担い手として障がい者が参加している
      - 役割を持って、仲間として参加
      - 自然な交流になるはず
      - でも場所がない
      - 会議室ではない交流の場
        - 空き家の活用
  - インフォーマルなサービスの情報が届いていない
    - 一元化して発信
  - 人材不足
    - ヘルパー講習の参加者が少ない
      - 障がい者の生活を支えるところへの不安？
    - 研修の場が少ない
  - 計画相談の窓口が増えたのはいい
    - 連携の取り方が介護保険と違う
    - 連携がうまく取れるといい
  - 自分たちの支援内容・施設の活動が知られていない
    - 日中活動のプログラム
      - パターン化
    - 行動障害の場合のプログラム
    - 他施設との交流が必要
  - 区内の問題がまだわからないという課題
    - 大きなお屋敷が心配な気がした
    - 地域がらの問題ってないのかな
  - 当事者としてはこの先どうなるのかが不安
    - こんなに相談にのってもらえるのかわかった
    - 知らないことが多い
    - 伝えることをしていきたい

サービスが足りていない

住まいの問題
- 地域で暮らすための工夫

本人、家族の高齢化